

PTS Ver.3.0 ガイドライン

～ Planogram Transfer Specifications Ver.3.0 ～

第4版:2015年2月

棚割システム研究推進会

1 PTS Ver.3.0 への対応状況

● PTS対応システム一覧

システム名	システムベンダー名	PTS Ver.1.0	PTS Ver.2.0	PTS Ver.3.0
StoreManager StoreManagerGX	日本総合システム 株式会社	○ 対応済 (StoreManager: Ver2.0～)	○ 対応済 (StoreManager: Ver9.0～)	○ 対応済 (StoreManagerGX: Ver3.0～)
棚サイエンス	株式会社 リテイルサイエンス	○ 対応済 (Ver6.0～)	○ 対応済 (Ver9.5～)	○ 対応予定 (Ver10.0～)
棚POWER 店POWER	株式会社 サイバーリンクス	○ 対応済 (棚POWER:Ver.7.0～) (店POWER:Ver.1.0～)	○ 対応済 (棚POWER:Ver.14.0～) (店POWER:Ver.4.20～)	○ 対応済 (棚POWER:2014～)
Space Planning by Intactix(tm)	JDAソフトウェア・ ジャパン株式会社	○ 対応済 (Ver7.5.6～)	○ 対応済 (Ver7.5.6～)	○ 対応済 (Ver8.2～)

2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

● 出力時の注意事項

○ 全般

- ・出力するファイル名称は任意とし、形式はCSV形式(拡張子:csv)とする。
- ・1ファイルには、複数の台からなる棚割モデルを一つ出力する。
- ・出力レコード順は、「PTSヘッダー」>「台情報」>「棚情報」>「配置情報」でソートを行う。
- ・各項目は、ダブルクォーテーション(“ ”)等で囲まない。
- ・必須項目は、必ず出力する。

○ 台情報

- ・複数の台がある場合、項目No1「台番号」の順にソートを行う。
- ・台名称は任意出力の参考情報とする。

2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 棚情報

- ・項目No1「台番号」、項目No2「棚段番号」の順にソートを行う。
- ・「棚高さ」は、床面から陳列面までの高さを入力する。フック(吊し)の場合は、床から吊される箇所を中心までの高さとする。
- ・袴(はかま)の概念がある場合でも、PTSでは袴も含めて1段目の「棚高さ」とする。
※ PTSでは、袴を定義しない
- ・1段目の棚(「棚段番号」=1の場合)は、以下の通り出力する。
 - －「棚高さ」=「1段目の棚厚さ」となる場合は、「棚厚さ」=0(ゼロ)をセット
 - －「棚種別」=1(床置き)をセット

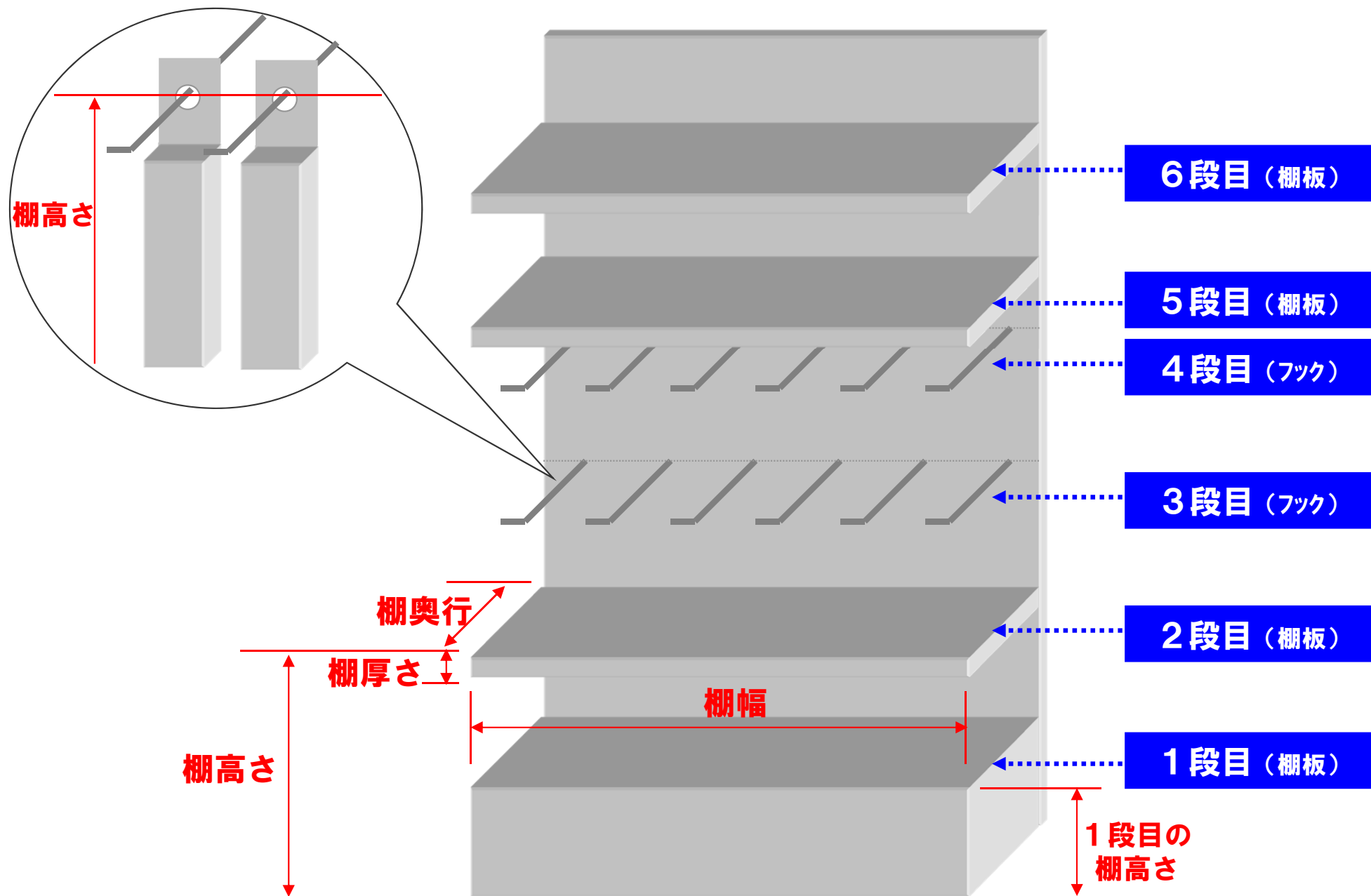
2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 配置情報

- ・項目No1「台番号」、項目No2「棚段番号」、項目No3「棚位置」の順にソートを行う。
- ・陳列商品のSKU単位で出力し、同一商品が複数フェース配置されている場合も1レコード出力する。ただし、以下の場合は別レコードとして出力する。
 - ー 連続して陳列されておらず、同一モデル内の別の場所に同じSKUが配置されている場合
 - ー 連続して陳列されているが、「フェース面」、「フェース回転」、「積上陳列数」、「フェース内陳列区分」、「フェース内位置」、「奥行陳列数」のいずれかが異なる場合
 - ー 連結棚(隣り合う台間で繋がっている棚)の連結部に複数フェース配置されている場合
- ・候補商品(床置き商品等)の概念がある場合は、「台番号」、「棚段番号」、「棚位置」に全て0(ゼロ)をセットする。
- ・「在庫数量」は、ユーザーによってセットされた在庫数がある場合は優先してセットし、ない場合には、陳列可能数を算出しセットする。
- ・一つの棚割モデルの中(1つのPTSファイル内)で、同一SKUの配置情報が複数レコード出力される場合は、該当レコード全てに合計の在庫数量をセットする。
- ・一つの棚割モデルの中(1つのPTSファイル内)で、同一SKUの配置情報が複数レコード出力される場合に「積上陳列数」、「奥行陳列数」をセットする場合、それぞれのレコードに1フェースあたりの陳列数をセットする。
- ・「フェース内陳列区分」が“0”の場合、「フェース内位置」には“1”をセットする。

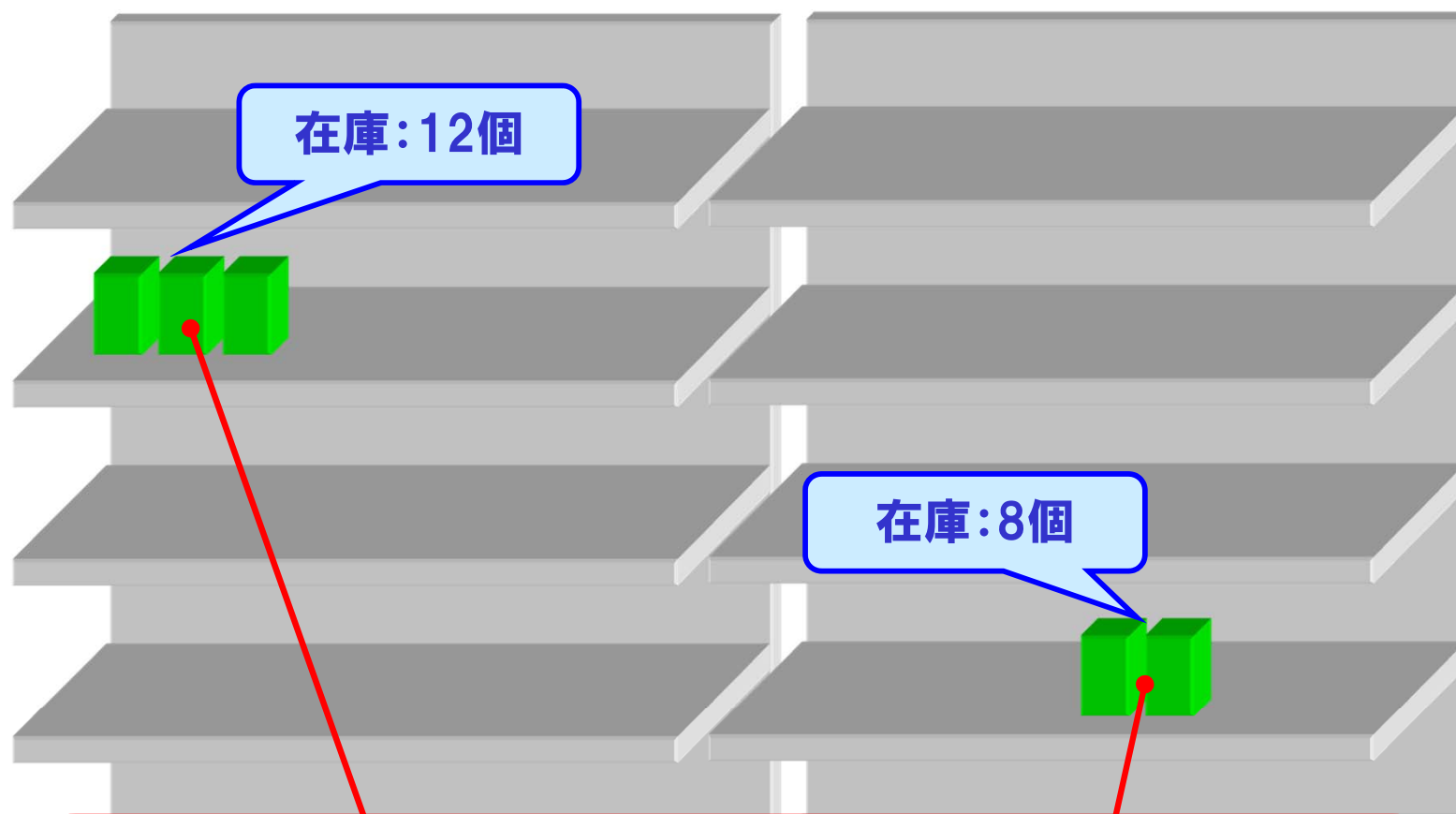
2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 台情報、棚情報の概念



2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

- 同一SKUの配置情報が存在する場合の在庫の考え方

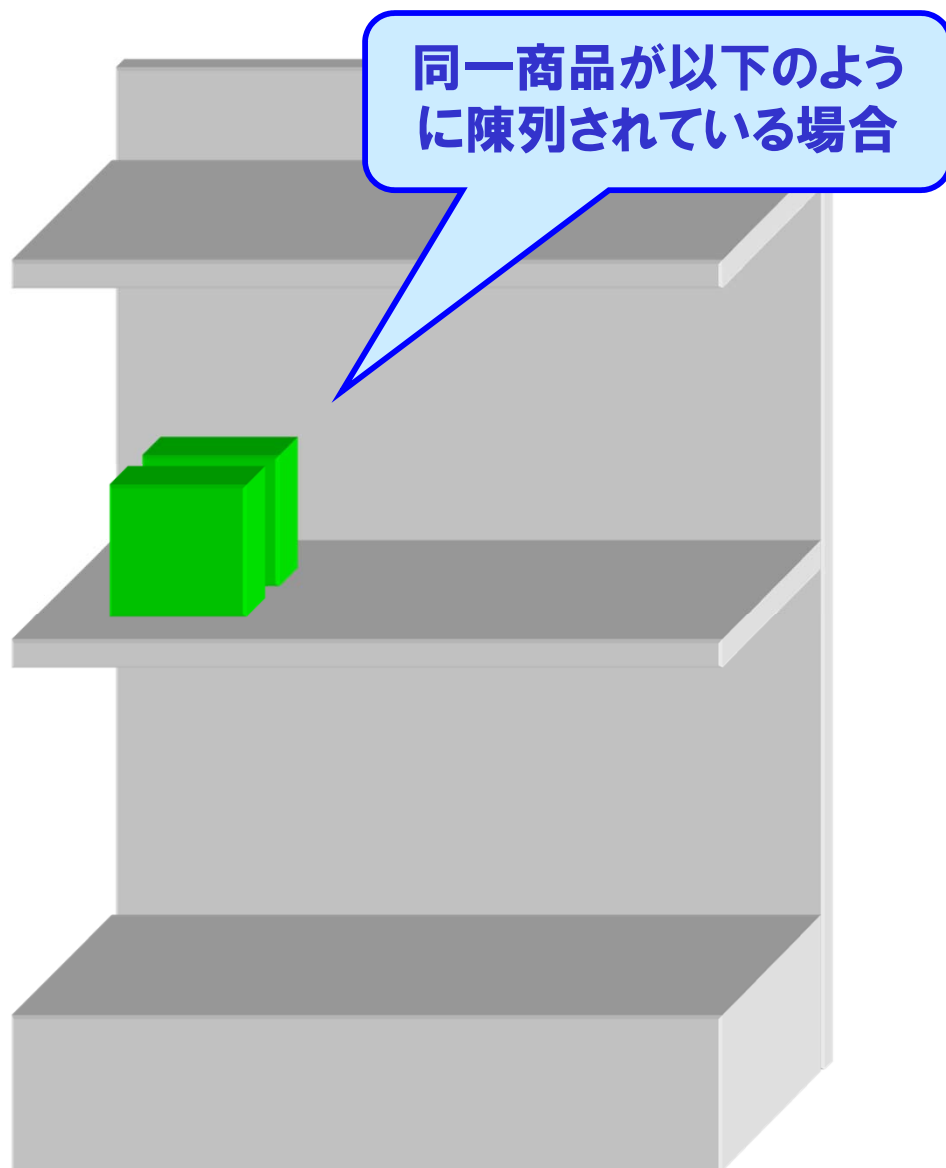


PTS上は、在庫数量:20をセット

※ユーザーによってセットされた在庫数がある場合は優先してセット

2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 同一フェース内に1SKUを奥に並べて陳列する場合

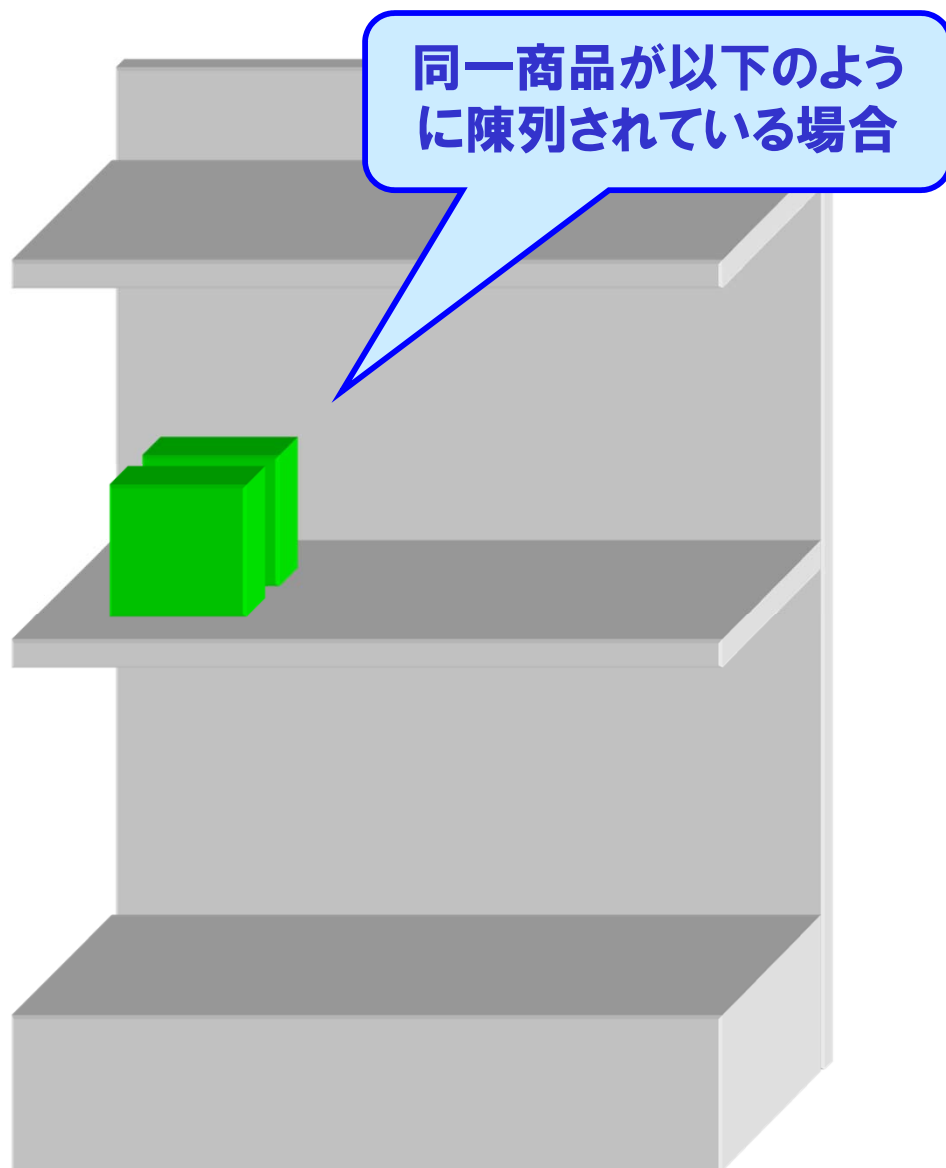


PTS出力

積上陳列数:1
在庫数量:2
フェース内陳列区分:0
フェース内位置:1
奥行陳列数:2

2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 同一フェース内に1SKUを奥に並べて陳列し、陳列数を明示しない場合

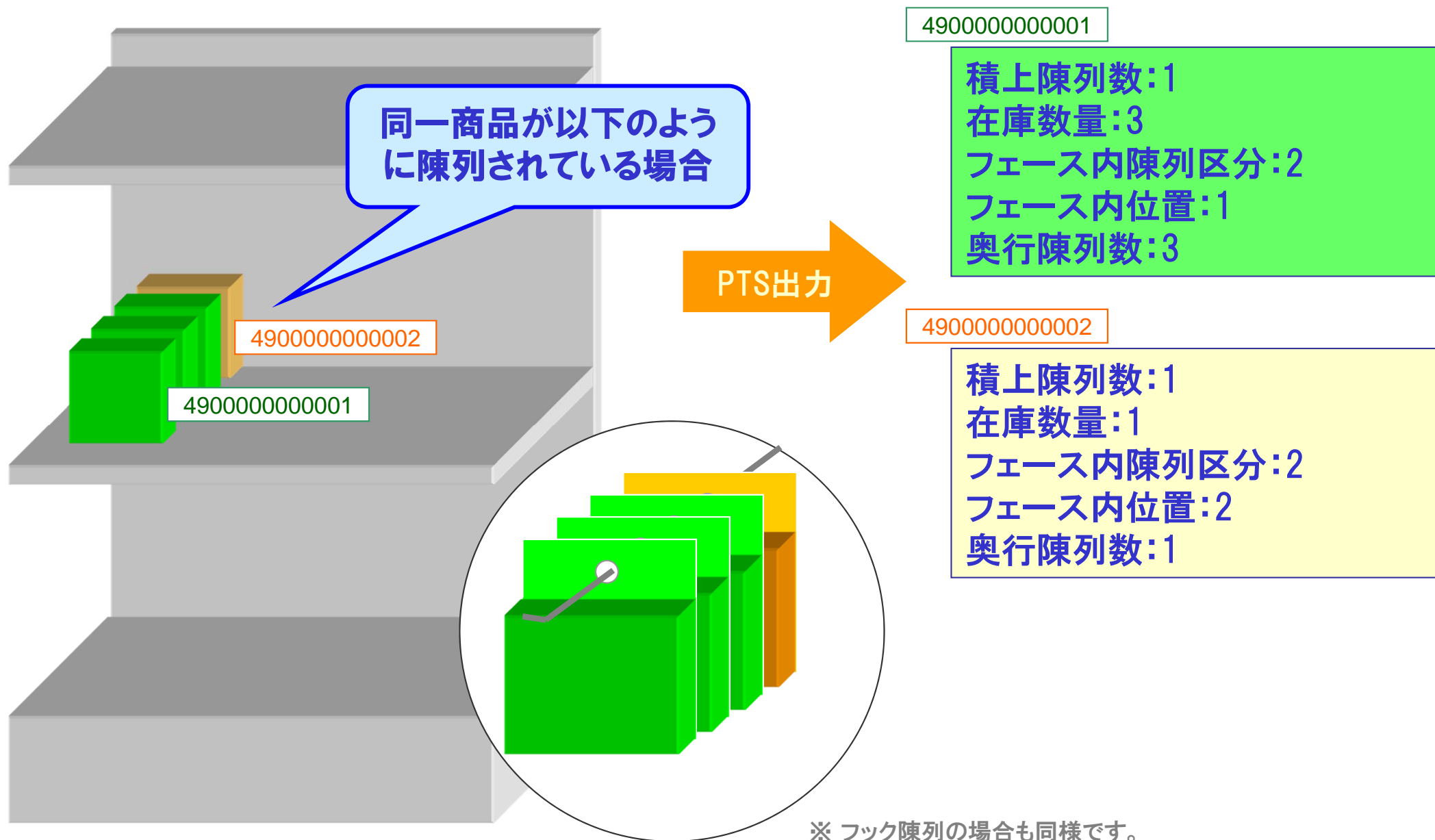


PTS出力

積上陳列数:1
在庫数量:2
フェース内陳列区分:NULL
フェース内位置:NULL
奥行陳列数:NULL

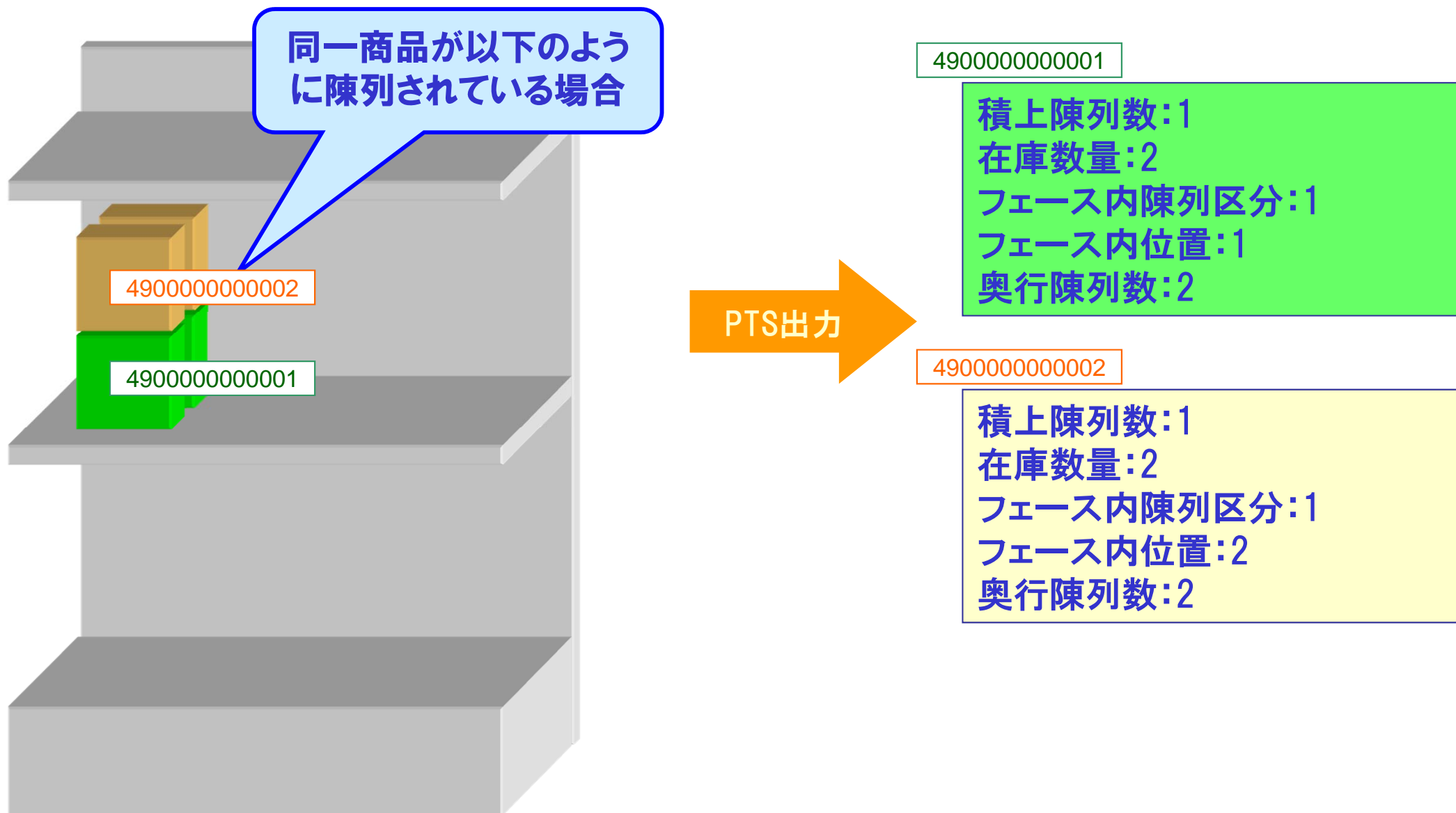
2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 同一フェース内に複数SKUを奥に並べて陳列する場合



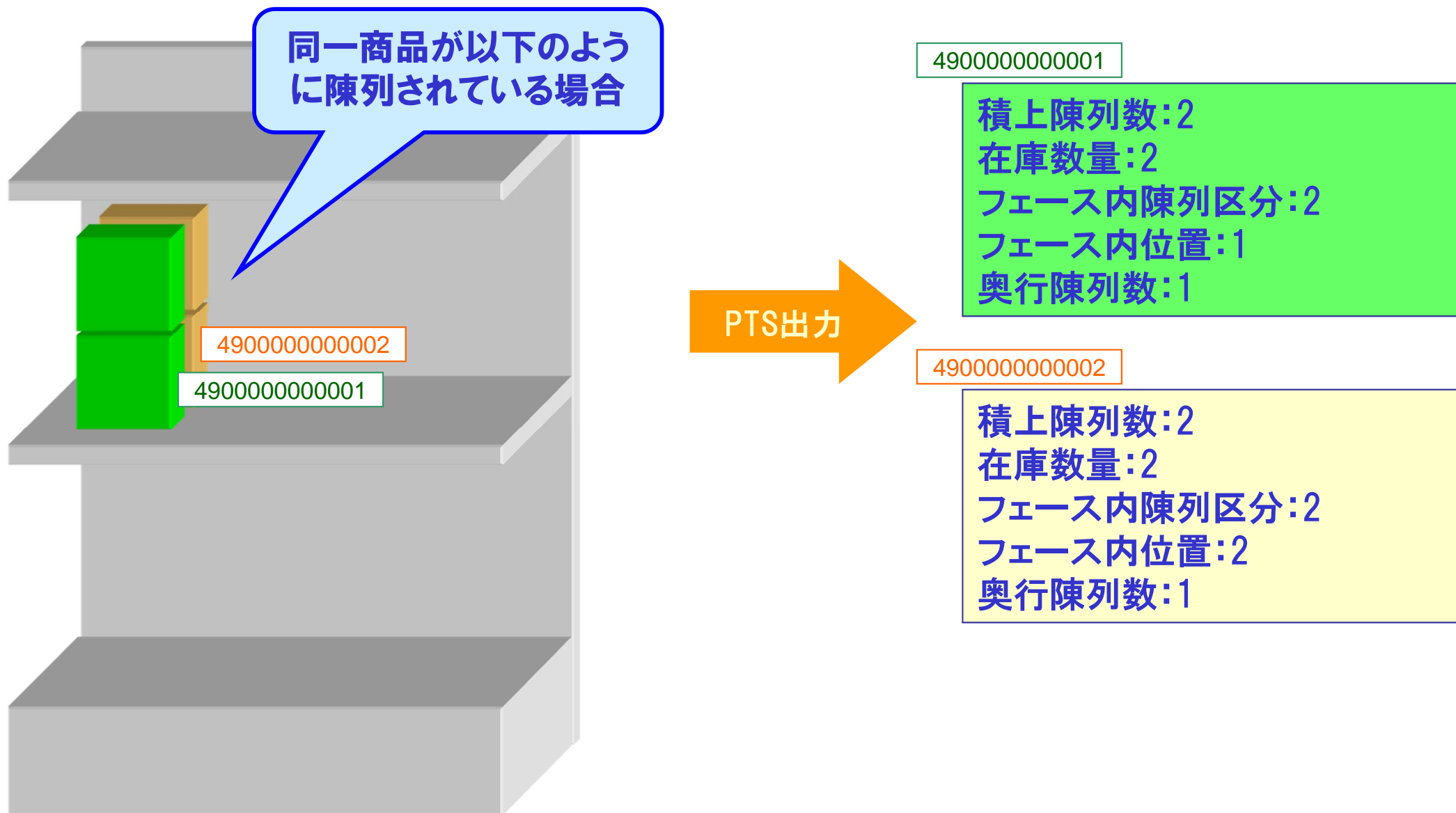
2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 同一フェース内に複数SKUを上にならべて陳列する場合



2 PTS Ver.3.0 出力時の注意事項

○ 同一フェース内に複数SKUを奥に並べて陳列する場合



2 PTS Ver.3.0 入力時の注意事項

● 入力時の注意事項

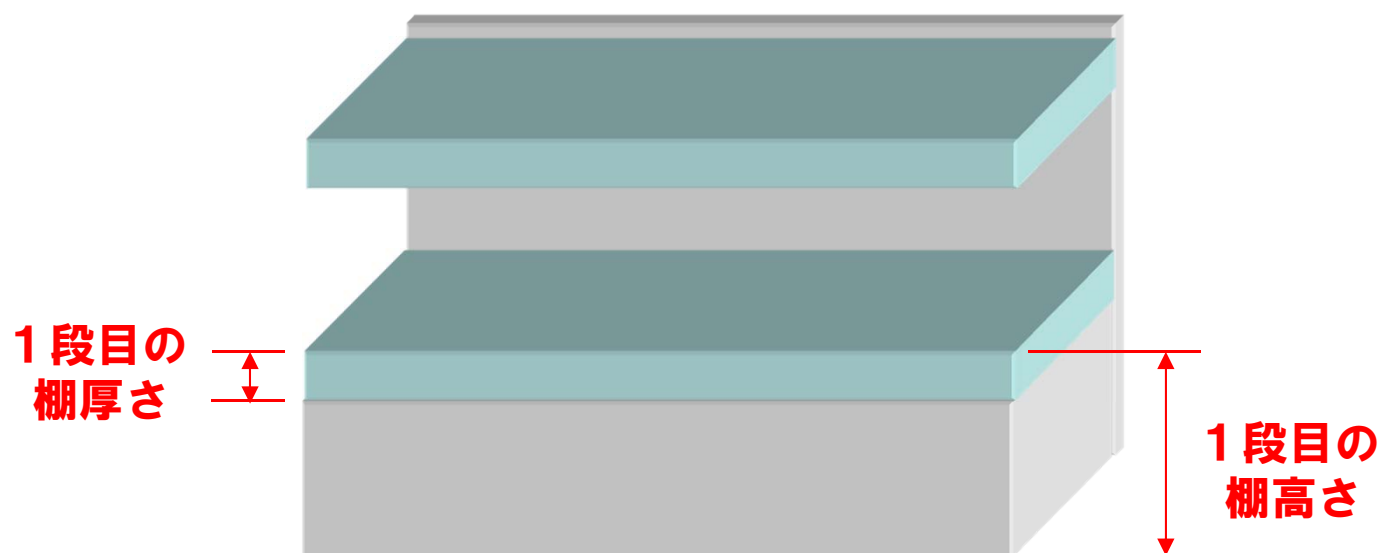
○ 配置情報

- ・「フェース内陳列区分」に有効な値(“0”,“1”もしくは“2”)がセットされている場合は、「フェース内位置」、「奥行陳列数」にセットされている値に従い陳列再現する。
- ・「フェース内陳列区分」に有効な値(“0”,“1”もしくは“2”)がセットされていない場合は、「フェース内位置」、「奥行陳列数」を無視し、「在庫数量」までの項目にセットされている値に従い陳列再現する。
- ・「フェース内陳列区分」が“0”の場合は、「フェース内位置」にセットされている値を無視し、「フェース内位置」“1”とみなして陳列再現する。

3 各システム入出力時のガイドライン

● 1段目の棚厚さ

システム名	
StoreManagerGX	1段目の「棚厚さ」は別途持っている
棚サイエンス	1段目の「棚厚さ」は別途持っている
棚POWER	1段目は「棚高さ」=「棚厚さ」となる
Space Planning by Intactix(tm)	---



3 各システム入出力時のガイドライン

● 台(ゴンドラ)毎の名称

システム名	
StoreManagerGX	名称やコードを任意に指定することができる
棚サイエンス	“01本目”“02本目”……がセットされる
棚POWER	ゴンドラNo.(10桁の英数字)がセットされる
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

● 連結されている棚の中で連結部にかかる商品の出力

システム名	
StoreManagerGX	左の棚の商品としてセットされる
棚サイエンス	左の棚の商品としてセットされる
棚POWER	台跨り商品の扱い設定に準拠して出力する (左の棚か右の棚かをユーザーが設定可能)
Space Planning by Intactix(tm)	---

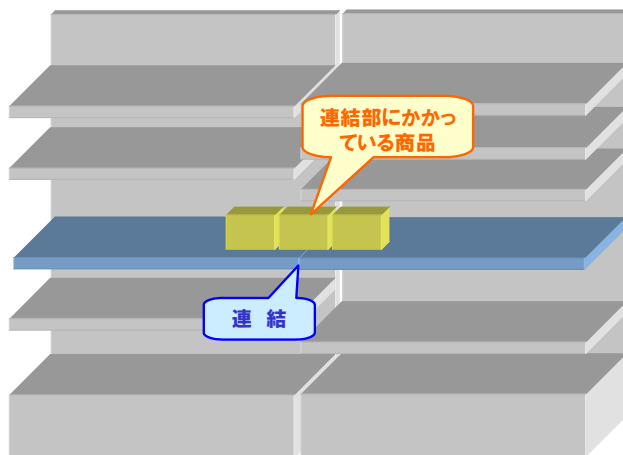
3 各システム入出力時のガイドライン

- 連結されている棚の中で連結部にかかる商品が複数フェイスある場合の出力

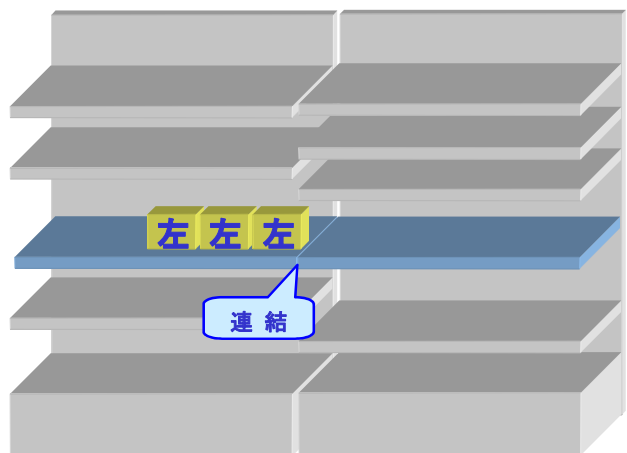
システム名	
StoreManagerGX	連結部にかかっているフェイスは左の棚に、その他はそのフェイスが載っている方の棚にセット
棚サイエンス	全てのフェイスをまとめて左の棚にセット
棚POWER	台跨り商品の扱い設定に準拠して出力する (連結部にかかっているフェイスを、その他のフェイスが載っている左右どちらかの棚にセットするかをユーザーが設定可能)
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

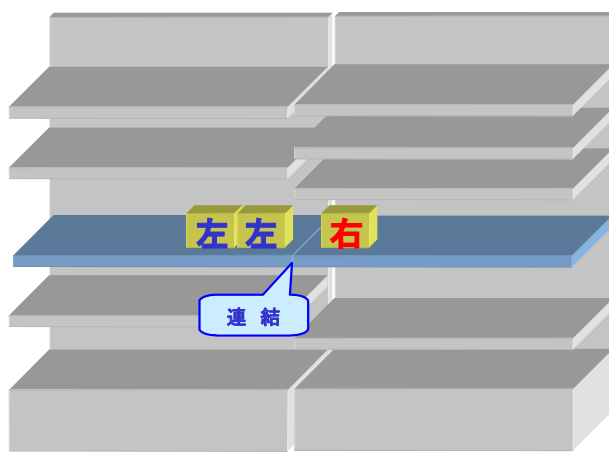
連結棚のイメージ



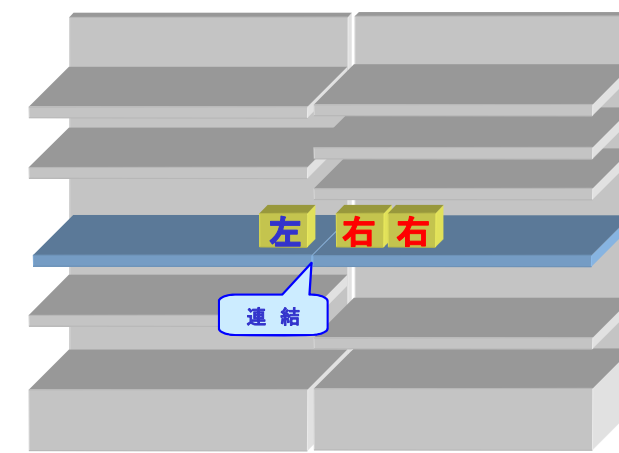
棚サイエンス



StoreManagerGX
棚POWER ※



棚POWER※



※ユーザーが形式設定可能

3 各システム入出力時のガイドライン

● 候補商品(床置き商品)の出力

システム名		システム内名称
StoreManagerGX	出力する	作業スペース
棚サイエンス	出力する	床置き
棚POWER	出力する	仮置情報
Space Planning by Intactix(tm)	---	

3 各システム入出力時のガイドライン

● PTS取り込み時(インポート時)に商品マスタがない場合

システム名	
StoreManagerGX	<ul style="list-style-type: none"> ・①仮商品②「箱」③「無視(取り込まない)」をユーザーが設定可能 ・「仮商品」「箱」として取り込む場合はデフォルトサイズをユーザーが設定可能
棚サイエンス	1辺10cmのダミー商品として取り込む
棚POWER	ダミー商品として取り込む(デフォルトサイズをユーザーが設定可能)
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

● PTS取り込み時(インポート時)に棚の幅に収まらない場合

システム名	
StoreManagerGX	棚の幅は入力値のままとなるが、商品は床に落ちない(はみ出し陳列)。
棚サイエンス	棚落ちはせず、自動で圧縮される
棚POWER	棚落ちはせず、自動で圧縮される。ただし、圧縮の限界を超えた場合には右側の商品から仮置情報に移動される。圧縮率は商品毎の設定も可能。
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

● PTS取り込み時(インポート時)に棚の奥行に収まらない場合

システム名	
StoreManagerGX	棚の奥行きは入力値のまま、床に落ちない(はみ出し陳列)
棚サイエンス	棚の奥行きは入力値のまま、床に落ちない(自動で圧縮)
棚POWER	棚の奥行きは入力値のまま、手前の商品から床に落ちる(仮置情報へ)
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

- **PTS取り込み時(インポート時)**に
「フェース内陳列区分」に有効な値(“0”,“1”もしくは“2 ”)がセットされているが
「フェース内位置」に値がセットされていない場合

システム名	
StoreManagerGX	0の場合には、1と解釈する。1と2については、仕様検討中。
棚サイエンス	レコードの並び順を「フェース内位置」と解釈する。
棚POWER	レコードの並び順を「フェース内位置」と解釈する。
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

- **PTS取り込み時(インポート時)に**
「フェース内陳列区分」に有効な値(“0”,“1”もしくは“2 ”)がセットされているが
奥行陳列数に値がセットされていない場合

システム名	
StoreManagerGX	0と1の場合には、棚の奥まで自動的に陳列される。 2の場合には、仕様検討中。
棚サイエンス	全て1と解釈する。
棚POWER	0と1の場合には、棚の奥まで自動的に陳列される。 2の場合には、奥行陳列数を1とする。
Space Planning by Intactix(tm)	---

3 各システム入出力時のガイドライン

● フック棚を設置する場合の制限

システム名	
StoreManagerGX	フックを設置する場合は、すぐ上の棚の下面から最低20mm空ける必要がある
棚サイエンス	特になし (フックの概念がなく、上の棚に吊り下がるだけ)
棚POWER	特になし
Space Planning by Intactix(tm)	---